

公立陶生病院組合負担金

[27]

事業の位置づけ

一般会計

政策	01	みんなで支えあう健康のまちづくり	事務事業コード	12-0101	実施計画	
施策	02	地域医療・福祉医療の推進	評価区分	通常評価	総合戦略	
基本事業	01	高度医療体制の充実	担当	健康福祉部 健康課		

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (29年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)	
	市民 公立陶生病院	市民病院を持たない瀬戸市、尾張旭市、長久手市を主体とした地域で高度医療を受けることができる病院である。 公立陶生病院組合の経費は、公立陶生病院組合規約第11条により、「組合の財産、その他の収入をもって充てるものを除くほか組合市の住民の病院利用率とその人口数に応じ組合の議会において定める割合」をもって負担する。	
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	平成28年度負担金内訳 3市全体の負担金：1,466,870,000円 瀬戸市 1,203,358,381円(82.1%) 尾張旭市 217,642,908円(14.8%) 長久手市 45,875,711円(3.1%)	平成29年度負担金内訳 3市全体の負担金：1,550,000,000円 瀬戸市 1,204,200,000円(77.7%) 尾張旭市 285,600,000円(18.4%) 長久手市 60,200,000円(3.9%)
	公立陶生病院があることにより、市民が高度な医療を受けることができ、健康を保持することができる。		

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	27年度実績	28年度実績	29年度当初	29年度実績
活動指標	負担金額	千円	215,510	217,643	285,600	285,600
成果指標	陶生病院を利用した延市民数	人	86,015	83,126	90,000	81,821
	陶生病院を利用した市民割合	%	104.4	100.4	108.7	98.6
事業費 計				217,643	285,600	285,600
指 標・事業費	財源内訳	ア 国	千円			
		イ 県				
		ウ 地方債				
		エ その他				
		オ 一般			217,643	285,600

H29年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】 順調	平成30年5月に新たに東棟がオープンした。新生児センター、周産期母子センターなど母子の健康を重点的にケアできる体制のほか、患者支援センターや放射線治療室などこれまで以上に質の高い治療が期待できる。
	【成果指標の状況】 低下 【成果向上余地】 余地が中程度	

H29年度実施取組方針(H28年度本部結論)の実績評価

実施取組方針実績評価	H29年度実施取組方針	本部方向性	維持
	H29年度実施取組方針の実績評価	実施状況	-

休日救急当直診療運営事業

[28]

事業の位置づけ

一般会計

政策	01	みんなで支えあう健康のまちづくり	事務事業コード	12-0201	実施計画	
施策	02	地域医療・福祉医療の推進	評価区分	通常評価	総合戦略	
基本事業	02	救急医療体制の充実	担当	健康福祉部 健康課		

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (29年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	市民 瀬戸旭医師会	手段(事務事業の内容、やり方、手順)	これまでの在宅輪番制に替え、瀬戸市と共同で「瀬戸旭休日急病診療所」を設置した(平成29年8月診療開始)。施設の建設、運営に係る経費を瀬戸市へ負担金として拠出している。 地域医療連携推進事業 医療機関相互の機能連携・分担を進め、市民への効率的な医療体制を整える。 (参考)平成29年度地域医療連携推進事業参加医療機関 尾張旭市54医療機関・瀬戸市61医療機関 合計115医療機関
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)			
	市民が疾病等の救急時に「安心して速やかに医療が受けられる」。			

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	27年度実績	28年度実績	29年度当初	29年度実績
活動指標	委託料等総額	千円	7,405	39,622	30,145	23,105
	休日診療に従事する医師数	件	70	51	51	57
成果指標	疾病等救急時に『医療が受けられなかった市民数』	人	0	0	0	0
事業費 計			7,405	39,622	30,145	23,105
指標・事業費	財源内訳	ア 国	千円			
		イ 県				
		ウ 地方債				
		エ その他				1
		オ 一般		7,405	39,622	30,144

H29年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】 順調 【成果指標の状況】 維持・横ばい 【成果向上余地】 余地が中程度	「瀬戸旭休日急病診療所」の開設(休日診療拠点の定点化)で、場所に迷わず受診可能となり、市民の利便性向上が図られた。
--------	---	---

H29年度実施取組方針(H28年度本部結論)の実績評価

実施取組方針実績評価	H29年度実施取組方針	本部方向性	見直し
	休日診療所の開設に向けて、適切な建設費及び運営費の負担割合となるよう引き続き瀬戸市との協議を進めます。		
	H29年度実施取組方針の実績評価	実施状況	
瀬戸市との間で「瀬戸市立休日急病診療所の管理運営に係る経費の負担に関する協定書」等を締結し、協定書に基づく割合で負担金を拠出した。			

地域救急医療体制運営事業

[1005]

事業の位置づけ

一般会計

政策	01	みんなで支えあう健康のまちづくり	事務事業コード	12-0202	実施計画
施策	02	地域医療・福祉医療の推進	評価区分	通常評価	総合戦略
基本事業	02	救急医療体制の充実	担当	健康福祉部 健康課	

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (29年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	<p>市民 愛知県 尾張東部地域5市1町</p> <p>意図(対象をどのような状態にしたいのか)</p> <p>市民が救急医療体制を知っており、疾病等の救急時に速やかに救急医療体制を利用することができる。</p>	<p>疾病による緊急時に医療が受けられる体制を維持し、市民に救急医療体制を知ってもらう。そのためのシステムを確立し、常時、関係団体が情報や手段を提供する。</p> <p>尾東地域救急医療対策連絡協議会 愛知県第2次救急医療体制を維持することにより、救急医療システムの安定を図っている。各市町の負担金による運営。</p> <p>愛知県救急医療情報システム 愛知県が主体となり、広域で救急医療情報、災害時の医療機関情報が得られるシステムが構築されている。その救急医療情報は、電話の他、インターネットで検索できるなど広域の情報網が確立されている。</p> <p>本市の救急医療体制(周知) ・瀬戸市と共同で「瀬戸旭休日急病診療所」を設置。 ・市広報及びホームページに休日急病診療所を掲載。転入者には市民課窓口で医療機関マップを配布。</p>

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	27年度実績	28年度実績	29年度当初	29年度実績
活動指標	地域救急医療体制運営のための負担金額	千円	3,184	3,111	3,081	3,081
成果指標	救急医療体制が適正に機能されなかった事例件数	件	0	0	0	0
事業費 計			3,184	3,111	3,081	3,081
指標・事業費	財源内訳	ア 国				
		イ 県				
		ウ 地方債				
		エ その他				
		オ 一般	千円	3,184	3,111	3,081

H29年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】 順調	<p>旭労災病院の平成29年度実績 夜間(365日)、土日祝日(121日)における「時間外地域別患者数」 年間総数:4,683人(うち尾張旭市民:1,583人) 夜間、休日における2次救急医療体制(市民の地域医療の推進)に寄与している。</p>
	【成果指標の状況】 維持・横ばい 【成果向上余地】 余地が小さい・なし	

H29年度実施取組方針(H28年度本部結論)の実績評価

実施取組方針実績評価	H29年度実施取組方針	本部方向性	維持
	H29年度実施取組方針の実績評価	実施状況	-

かかりつけ医制度促進事業

[29]

事業の位置づけ

一般会計

政策	01	みんなで支えあう健康のまちづくり	事務事業コード	12-0301	実施計画	
施策	02	地域医療・福祉医療の推進	評価区分	通常評価	総合戦略	
基本事業	03	かかりつけ医制度の普及	担当	健康福祉部 健康課		

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (29年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	市民 瀬戸旭医師会及び医療機関	市民が身近な地域で必要に応じて適切な医療の提供を受けられる仕組みをつくり、その普及・推進を図る。 1. かかりつけ医制度の市広報誌・市ホームページ等による市民周知 2. 瀬戸旭医師会及び医療機関との連携
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	
市民がいつでも適切な医療が受けられるよう「かかりつけ医」の普及を図るとともに、市民の在宅医療制度を支えるための医療機関相互の連携づくりを図る。そして、安心して医療や相談が受けられる状態にする。		

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	27年度実績	28年度実績	29年度当初	29年度実績	
活動指標	「かかりつけ医」制度普及に関する広報・事業等の回数	回	1	1	1	1	
	「かかりつけ医」制度普及に関する対医師会等との会議・打合せ回数	回	1	1	1	1	
成果指標	かかりつけ医を持っている市民割合	%	69.5	69.5	72	70	
指標・事業費	事業費 計						
	財源内訳	ア 国	千円				
		イ 県					
		ウ 地方債					
		エ その他					
オ 一般							

H29年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】 順調 【成果指標の状況】 維持・横ばい 【成果向上余地】 余地が中程度	平成27年度のまちづくりアンケート結果(69.5%)との比較では、平成29年度は、70.0%と0.5ポイント向上しているが、目標値の75.0%には5.0ポイント達していない。
--------	---	---

H29年度実施取組方針(H28年度本部結論)の実績評価

実施取組方針実績評価	H29年度実施取組方針	本部方向性	維持
	H29年度実施取組方針の実績評価	実施状況	-

福祉医療費支給（高齢者）事業

[30]

事業の位置づけ

一般会計

政策	01	みんなで支えあう健康のまちづくり	事務事業コード	12-0401	実施計画
施策	02	地域医療・福祉医療の推進	評価区分	通常評価	総合戦略
基本事業	04	福祉医療費の助成	担当	健康福祉部 保険医療課	

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (29年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	後期高齢者医療被保険者で医療費一部負担金の支払が困難である福祉医療該当者	後期高齢者被保険者で、下記に該当する方が医療を受けたとき、保険診療分に係る一部負担金の全部又は一部を助成する。 医療機関の窓口で提示する受給者証を交付して現物給付するものと、受診後に市の窓口で申請して償還支払いするものがある。
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	障がい者・母子父子家庭・戦傷病者・精神障がい者・精神保健及び精神障害者福祉に関する法律による措置入院患者・感染症法による命令入所患者等・ひとり暮らし高齢者(H29.3.31廃止、H30.7.31まで経過措置あり)・寝たきり高齢者及び認知症高齢者(一部、市民税非課税世帯の条件あり)の入通院全疾患の医療費、自立支援医療受給者証(精神通院)所持者の当該疾患にかかる医療費、精神保健及び精神障害者福祉に関する法律第5条に規定する疾患で入院療養(措置入院を除く)を受けたかたの当該疾患にかかる1/2医療費、指定難病患者等受給者の入院療養を受けたかたの入院全疾患の医療費
	後期高齢者福祉医療費受給者の経済的負担が軽減され、医療費の支払いを心配することなく生活できている。	

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	27年度実績	28年度実績	29年度当初	29年度実績	
活動指標	後期高齢者福祉医療費助成額	千円	136,165	138,643	144,000	141,839	
	後期高齢者福祉医療費助成件数	件	45,389	47,249	52,088	48,124	
成果指標	1人あたりの支給額	千円	102	103	103	105	
事業費 計			138,021	140,581	145,873	143,600	
指標・事業費	財源内訳	ア 国	千円				
		イ 県		59,199	61,148	66,736	60,552
		ウ 地方債					
		エ その他					
		オ 一般		78,822	79,433	79,137	83,048

H29年度実績の評価

成果実績評価	<p>【活動指標の状況】 順調</p> <p>【成果指標の状況】 維持・横ばい</p> <p>【成果向上余地】 余地が小さい・なし</p>	(状況) 1人あたりの支給額は、約1.9%増加。
--------	---	--------------------------

H29年度実施取組方針(H28年度本部結論)の実績評価

実施取組方針実績評価	H29年度実施取組方針	本部方向性	見直し
	市単独事業の経費適正化に向けて検討を進めます。 引き続き受給者に対して適切な助成を実施するとともに、県の制度見直しなどがある場合に備え、情報収集に努めます。		
	H29年度実施取組方針の実績評価	実施状況	
平成29年4月1日から、県の助成対象となるねたきり高齢者・認知症高齢者の医療費を拡大。上記に伴い、平成29年3月31日を以って市単独事業であったひとり暮らし要件の医療費助成制度廃止。平成30年7月31日まで経過措置あり。 受給者に対して適切な助成を実施した。県の制度見直しなどの情報はなかった。			

福祉医療費支給（障害者）事業

事業の位置づけ

政策	01	みんなで支えあう健康のまちづくり	事務事業コード	12-0402	実施計画
施策	02	地域医療・福祉医療の推進	評価区分	通常評価	総合戦略
基本事業	04	福祉医療費の助成	担当	健康福祉部 保険医療課	

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (29年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	心身障がい者、精神障がい者及び指定難病患者等受給者	対象となる心身障がい者、精神障がい者及び指定難病患者等受給者が医療を受けたとき、保険診療分に係る一部負担金の全部又は一部を助成する。医療機関の窓口で提示する受給者証を交付して現物給付するものと、受診後に市の窓口で申請して償還払いするものがある。 身体障がい者手帳を所持する1級から3級の者、4級で腎臓機能障害の者及び4級から6級で進行性筋萎縮症の者の入通院全疾病の医療費 知能指数50以下の者及び自閉症状群と診断されている者の入通院全疾病の医療費
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	特に回復困難な疾病のうち市長が認める者の当該疾病以外の入通院の医療費(H29.12.31で経過措置終了) 精神障がい者が障害者自立支援法第58条に規定する自立支援医療を受けて精神障がいの療養を受けたときの医療費又は入院して行なわれる精神障がいの療養を受けたときの1/2の医療費 精神障害者保健福祉手帳1・2級及び自立支援医療受給者証(精神通院)所持者の入通院全疾病の医療費 精神障害者保健福祉手帳1・2級所持者の入院全疾病の医療費 指定難病患者等受給者の入院全疾患の医療費(H27.1月入院分から)

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	27年度実績	28年度実績	29年度当初	29年度実績	
活動指標	障害者医療費及び精神障害者医療費助成額	千円	209,544	198,771	227,284	200,341	
	障害者等医療費及び精神障害者医療費助成件数	件	42,976	43,585	50,000	44,438	
成果指標	障害者医療費受給者1人あたりの医療費助成額	千円	148	137	141	141	
	精神障害者医療費1件あたりの医療費助成額	千円	3	3	3	3	
事業費 計			211,864	201,465	222,110	203,606	
財源内訳		ア 国					
		イ 県	千円	71,225	63,160	82,341	58,217
		ウ 地方債					
		エ その他					
		オ 一般		140,639	138,305	139,769	145,389

H29年度実績の評価

成果実績評価	<p>【活動指標の状況】 順調</p> <p>【成果指標の状況】 維持・横ばい</p> <p>【成果向上余地】 余地が小さい・なし</p>	(状況) 障害者医療費受給者1人あたりの医療費助成額は、約2.9%増加。 精神障害者医療費助成額1件あたりの医療費助成額は、同額のまま。
--------	---	---

H29年度実施取組方針(H28年度本部結論)の実績評価

実施取組方針実績評価	H29年度実施取組方針	本部方向性	見直し
	<p>市単独事業の経費適正化に向けて検討を進めます。</p> <p>引き続き受給者に対して適切な助成を実施するとともに、県の制度見直しなどがある場合に備え、情報収集に努めます。</p>		
	H29年度実施取組方針の実績評価	実施状況	

難病要件の市単独事業の経過措置が平成29年12月31日で終了。
瀬戸旭医師会や償還申請の柔整師等に終了の通知を送付した。
受給者に対して適正な助成を実施した。県の制度見直しなどの情報はなかった。

福祉医療費支給（子育て支援）事業

[32]

事業の位置づけ

一般会計

政策	01	みんなで支えあう健康のまちづくり	事務事業コード	12-0403	実施計画	対象
施策	02	地域医療・福祉医療の推進	評価区分	通常評価	総合戦略	
基本事業	04	福祉医療費の助成	担当	健康福祉部 保険医療課		

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (29年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	子ども、母子(父子)家庭等の者、妊産婦及び未熟児	対象となる子ども、母子父子家庭等の者、妊産婦及び未熟児が医療を受けたとき、保険診療分に係る一部負担金の全部又は一部を助成する。医療機関の窓口で提示する受給者証もしくは医療券を交付して現物給付している。 子ども医療：0歳から中学校3年生までの子どもに対し、入院・通院医療にかかる保険診療分の自己負担金を助成する。(平成23年4月から小4から中3までの通院医療を拡大)
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	母子父子家庭医療：18歳以下の児童を扶養している配偶者のない保護者とその児童、または父母のいない18歳以下の児童(ともに所得制限あり)に対し入院・通院医療にかかる保険診療分の自己負担金を助成する。
	子どもを養育する者や妊産婦等の経済的負担が軽減され、安心して必要な医療が受けられるようになっている。	妊産婦医療：対象の妊産婦が入院した場合、保険診療分の自己負担金を申請により助成する。 未熟児養育医療：対象となる未熟児が指定医療機関で入院治療を受けている場合、医療費の自己負担金を公費で負担する。(平成25年4月開始)

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	27年度実績	28年度実績	29年度当初	29年度実績
活動指標	子ども、母子父子、妊産婦及び未熟児養育医療助成金額	千円	517,720	545,671	551,600	518,117
	子ども、母子父子、妊産婦及び未熟児養育医療助成件数	件	220,987	228,459	221,310	222,125
成果指標	中学生までの保護者の母子保健サービスに対する満足度	%	85.5	-	85.5	86.4
	1人当たりの医療費支給額	千円	54	54	54	56
事業費計			527,866	556,049	574,850	529,072
財源内訳		ア 国	2,147	2,086	2,150	1,503
		イ 県	134,395	131,829	147,970	118,994
		ウ 地方債				
		エ その他	743	1,011	1,200	995
		オ 一般	390,581	421,123	423,530	407,580

H29年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】 順調 【成果指標の状況】 維持・横ばい 【成果向上余地】 余地が小さい・なし	(状況) 1人あたりの医療費支給額は、約3.7%増加。
--------	--	-----------------------------

H29年度実施取組方針(H28年度本部結論)の実績評価

実施取組方針実績評価	H29年度実施取組方針	本部方向性	見直し
	市単独事業の経費適正化に向けて検討を進めます。 引き続き受給者に対して適切な助成を実施するとともに、県の制度見直しなどがある場合に備え、情報収集に努めます。		
	H29年度実施取組方針の実績評価	実施状況	
妊産婦医療費助成制度を平成30年3月31日を以って廃止。 平成30年3月31日現在母子健康手帳の交付を受けた方については経過措置あり。 受給者に対して適切な助成を実施した。県の制度見直しなどの情報はなかった。			

事業の位置づけ

国民健康保険特別会計

政策	01	みんなで支えあう健康のまちづくり	事務事業コード	12-0501	実施計画
施策	02	地域医療・福祉医療の推進	評価区分	通常評価	総合戦略
基本事業	05	国民健康保険の健全な運営	担当	健康福祉部 保険医療課	

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (29年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	国民健康保険被保険者	<ul style="list-style-type: none"> 国民健康保険の資格取得、喪失の届出受付事務において、各種手続に関する案内を行う。 新規取得者に、他保険加入や転出時における喪失手続を口頭及びチラシで説明 窓口以外では、市広報や市販のパンフレットの配布(保険証更新時)により案内 他保険加入や転出があった被保険者世帯の内、未届者に対する手続勧奨、職権喪失事務を行う。 年齢が70歳以上の被保険者には、病院窓口での負担割合を記載した高齢受給者証の交付を行う。 国民健康保険被保険者証の一斉更新を行う。(偶数年度)
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	

安心して医療が受けられている。
また、70歳以上の被保険者は、負担区分の変更により医療負担が緩和され受診しやすくなっている。

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	27年度実績	28年度実績	29年度当初	29年度実績	
活動指標	資格喪失未届者への手続勧奨又は職権喪失した被保険者数	件	90	90	100	104	
	高齢受給者証交付件数	件	4,826	4,741	5,600	4,970	
成果指標	資格の適用を適正化した被保険者数	人	90	90	100	104	
	高齢受給者1人当たり医療給付費	千円	462	472	470	463	
事業費 計			19,772	25,341	35,679	24,994	
財源内訳		ア 国		1,555	17,550	7,128	
		イ 県					
		ウ 地方債					
		エ その他		2	1	1	1
		オ 一般		19,770	23,785	18,128	17,865

H29年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】 順調	(状況) 資格の適用を適正化した被保険者数は計画値を4ポイント上回っていますが、高齢受給者1人当たり医療給付費は計画値より下回っています。 (原因) 当初の見込みより被保険者数の減少が著しかったため。
	【成果指標の状況】 維持・横ばい 【成果向上余地】 余地が小さい・なし	

H29年度実施取組方針(H28年度本部結論)の実績評価

実施取組方針実績評価	H29年度実施取組方針	本部方向性	維持
	H29年度実施取組方針の実績評価	実施状況	-

国民健康保険税賦課事業

事業の位置づけ

国民健康保険特別会計

政策	01	みんなで支えあう健康のまちづくり	事務事業コード	12-0502	実施計画
施策	02	地域医療・福祉医療の推進	評価区分	通常評価	総合戦略
基本事業	05	国民健康保険の健全な運営	担当	健康福祉部 保険医療課	

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (29年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	国民健康保険税納税義務者	<ul style="list-style-type: none"> 所得等を調査し、賦課する。 納税通知書を発送する。 変更決定通知書を発送する。(資格異動等により税額に変更が発生した場合、納税義務者に変更内容と金額を通知する) 低所得世帯に対し、軽減措置を行う。 非自発的の失業者に対し、軽減措置を行う。 災害等により所得が大幅に減った世帯に対し、減免措置を行う。 未申告世帯に対し、申告勧奨を行う。(未申告世帯の中には軽減基準に該当する世帯があるので、申告を促し、低所得世帯の負担軽減を図る) 窓口において、チラシや口頭で納期限等の周知を行う。 口座振替による納付の促進を行う。(新規加入世帯へは、窓口で口座振替による納付勧奨およびマルチペイメント端末を利用した口座振替受付サービスを推奨し、既加入世帯へは、納税通知書発送時に口座振替依頼書を同封し、口座振替の勧奨を行う。)
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	

国保税を正確に賦課し、期限までに納税通知等を送付し、納税義務者が納期限までに納付している。

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	27年度実績	28年度実績	29年度当初	29年度実績
活動指標	納税通知書発送件数	件	11,626	11,634	11,650	11,026
	申告勧奨被保険者数	人	1,214	1,131	1,000	1,417
成果指標	国民健康保険税(現年分)収納率	%	94.10	94.60	93.5	95.5
	勧奨により申告した被保険者数	人	756	946	800	849
事業費 計			21,621	22,941	23,044	22,268
財源内訳	ア 国	千円				
	イ 県					
	ウ 地方債					
	エ その他					
	オ 一般		21,621	22,941	23,044	22,268

H29年度実績の評価

成果実績評価	<p>【活動指標の状況】 順調</p> <p>【成果指標の状況】 維持・横ばい</p> <p>【成果向上余地】 余地が小さい・なし</p>	(状況) 収納率は0.9ポイント上昇し、高い成果を上げている。
--------	---	---------------------------------

H29年度実施取組方針(H28年度本部結論)の実績評価

実施取組方針実績評価	H29年度実施取組方針	本部方向性	維持
	H29年度実施取組方針の実績評価	実施状況	-

国民健康保険運営協議会事業

[42]

事業の位置づけ

国民健康保険特別会計

政策	01	みんなで支えあう健康のまちづくり	事務事業コード	12-0503	実施計画
施策	02	地域医療・福祉医療の推進	評価区分	通常評価	総合戦略
基本事業	05	国民健康保険の健全な運営	担当	健康福祉部 保険医療課	

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (29年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	国民健康保険被保険者	国民健康保険運営協議会委員15名の協議により、国民健康保険事業の運営に関する重要事項を審議する。
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	
国民健康保険運営協議会が円滑に運営されている。		

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	27年度実績	28年度実績	29年度当初	29年度実績
活動指標	国民健康保険運営協議会の開催回数	回	1	1	4	3
成果指標	国民健康保険運営協議会の建議及び答申数	件	2	1	2	1
事業費 計			89	83	384	237
指標・事業費	財源内訳	ア 国	千円			
		イ 県				
		ウ 地方債				
		エ その他				
		オ 一般		89	83	384

H29年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】 順調	(状況) 国保財政や保険税率、保健事業など、国民健康保険の運営について必要な事項が協議された。
	【成果指標の状況】 維持・横ばい	
	【成果向上余地】 余地が小さい・なし	

H29年度実施取組方針(H28年度本部結論)の実績評価

実施取組方針実績評価	H29年度実施取組方針	本部方向性	維持
	H29年度実施取組方針の実績評価	実施状況	-

国民健康保険趣旨普及事業

[43]

事業の位置づけ

国民健康保険特別会計

政策	01	みんなで支えあう健康のまちづくり	事務事業コード	12-0504	実施計画
施策	02	地域医療・福祉医療の推進	評価区分	通常評価	総合戦略
基本事業	05	国民健康保険の健全な運営	担当	健康福祉部 保険医療課	

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (29年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	国民健康保険被保険者	<ul style="list-style-type: none"> 国民健康保険制度に関するパンフレットを窓口で保険加入時等に配布し、それらを用いて新規加入者等に国民健康保険制度の説明を行う。 国民健康保険制度(主に税)に関するリーフレットを納税通知書発送時に同封し、各世帯に配布する。 保険証更新時に国民健康保険制度(主に資格、給付)に関するパンフレットを、封筒に同封し各世帯に配布する。(偶数年度) 高齢者医療制度に関する小冊子を高齢受給者証新規発行者への発送時に同封し、配布する。
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	
被保険者が国民健康保険制度に対する理解を深め、適切な納税・諸手続きがされ、適正な受診がされている。		

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	27年度実績	28年度実績	29年度当初	29年度実績	
活動指標	国保税に関するリーフレット作成数	部	12,000	12,000	12,000	12,000	
	国保制度に関するパンフレット作成数	部	2,300	15,000	3,000	2,600	
成果指標	国民健康保険税(現年度分)収納率	%	94.10	94.60	93.5	95.5	
	転出、死亡等により資格喪失したにも関わらず届け出なかった人の数	人	90	90	50	104	
事業費 計			604	803	714	547	
財源内訳		ア 国					
		イ 県					
		ウ 地方債					
		エ その他					
		オ 一般	千円	604	803	714	547

H29年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】 順調 【成果指標の状況】 維持・横ばい 【成果向上余地】 余地が小さい・なし	国民健康保険税(現年度分)収納率は対前年度0.9ポイント向上し、県内では高い水準を維持している。
--------	--	--

H29年度実施取組方針(H28年度本部結論)の実績評価

実施取組方針実績評価	H29年度実施取組方針	本部方向性	維持
	H29年度実施取組方針の実績評価	実施状況	-

国民健康保険給付事業

事業の位置づけ

国民健康保険特別会計

政策	01	みんなで支えあう健康のまちづくり	事務事業コード	12-0505	実施計画
施策	02	地域医療・福祉医療の推進	評価区分	通常評価	総合戦略
基本事業	05	国民健康保険の健全な運営	担当	健康福祉部 保険医療課	

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (29年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	国民健康保険被保険者	手段(事務事業の内容、やり方、手順) ・療養費(緊急時に被保険者証を使用しないで療養の給付を受けたとき、補装具を作成したときなど、一旦医療費の全額を負担し、後日、自己負担分を除き償還払いされるもの)、高額療養費(同じ月内の医療費の自己負担額が高額になったときに、高額療養費算定基準額を超えた場合に支給されるもの)、出産育児一時金(被保険者が出産したときに支給されるもの)、葬祭費(被保険者が死亡したとき、申請により葬祭を行った人に支給されるもの)を審査し、適正に支払う。 ・療養給付費負担金等を適正に支払う。
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)		
	期日までに適正に保険給付され、負担金等も支払われている。		

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	27年度実績	28年度実績	29年度当初	29年度実績
活動指標	保険給付費	千円	5,214,590	5,059,690	5,196,421	4,811,903
成果指標	国民健康保険被保険者1人当たりの保険給付費	千円	270	276	298	277
事業費計			5,214,590	5,059,690	5,196,421	4,811,903
財源内訳	ア 国	千円	959,669	924,071	905,329	960,552
	イ 県		288,122	328,874	282,857	254,332
	ウ 地方債					
	エ その他		2,440,297	2,407,055	2,400,008	3,494,195
	オ 一般		1,526,502	1,399,690	1,608,227	102,824

H29年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】 順調	(状況) 1人当たりの保険給付費は微増。 (原因) 1人当たりの費用額は増加しているが、被保険者数が当初の見込み以上に減少したため。
	【成果指標の状況】 維持・横ばい 【成果向上余地】 余地が小さい・なし	

H29年度実施取組方針(H28年度本部結論)の実績評価

実施取組方針実績評価	H29年度実施取組方針	本部方向性	維持
	H29年度実施取組方針の実績評価	実施状況	-

後期高齢者支援金等【～H29】

[1223]

事業の位置づけ

国民健康保険特別会計

政策	01	みんなで支えあう健康のまちづくり	事務事業コード	12-0506	実施計画	
施策	02	地域医療・福祉医療の推進	評価区分	評価対象外	総合戦略	
基本事業	05	国民健康保険の健全な運営	担当	健康福祉部 保険医療課		

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (29年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	国民健康保険被保険者	後期高齢者支援金、後期高齢者関係事務費拠出金を社会保険診療報酬支払基金からの通知に基づき拠出する。
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	
高齢者の医療費負担の公平性が図られている。		

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	27年度実績	28年度実績	29年度当初	29年度実績
活動指標		千円				
		千円				
成果指標		千円				
		千円				
事業費 計			1,064,277	1,007,935	996,903	994,012
財源内訳		ア 国	406,889	396,798	376,325	379,034
		イ 県	78,844	71,478	79,746	68,293
		ウ 地方債				
		エ その他	9,264	10,512	8,316	11,050
		オ 一般	569,280	529,147	532,516	535,635

H29年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】 未設定 【成果指標の状況】 未設定 【成果向上余地】 余地が小さい・なし
--------	--

H29年度実施取組方針(H28年度本部結論)の実績評価

実施取組方針実績評価	H29年度実施取組方針	本部方向性	維持
	H29年度実施取組方針の実績評価	実施状況	未設定

前期高齢者納付金等【～H29】

[1228]

事業の位置づけ

国民健康保険特別会計

政策	01	みんなで支えあう健康のまちづくり	事務事業コード	12-0507	実施計画	
施策	02	地域医療・福祉医療の推進	評価区分	評価対象外	総合戦略	
基本事業	05	国民健康保険の健全な運営	担当	健康福祉部 保険医療課		

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (29年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	国民健康保険被保険者	前期高齢者納付金、前期高齢者関係事務費拠出金を社会保険診療報酬支払基金からの通知に基づき拠出する。
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	
前期高齢者の医療費負担の公平性が図られている。		

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	27年度実績	28年度実績	29年度当初	29年度実績
活動指標						
成果指標						
事業費 計			738	733	3,599	3,619
財源内訳		ア 国				
		イ 県				
		ウ 地方債				
		エ その他				
		オ 一般	千円	738	733	3,599

H29年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】 未設定 【成果指標の状況】 未設定 【成果向上余地】 未設定
--------	--

H29年度実施取組方針(H28年度本部結論)の実績評価

実施取組方針実績評価	H29年度実施取組方針	本部方向性	維持
	H29年度実施取組方針の実績評価	実施状況	未設定

老人保健拠出金【～H29】

[1227]

事業の位置づけ

国民健康保険特別会計

政策	01	みんなで支えあう健康のまちづくり	事務事業コード	12-0508	実施計画	
施策	02	地域医療・福祉医療の推進	評価区分	評価対象外	総合戦略	
基本事業	05	国民健康保険の健全な運営	担当	健康福祉部 保険医療課		

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (29年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	国民健康保険被保険者	老人保健医療費拠出金、老人保健事務費拠出金を社会保険診療報酬支払基金からの通知に基づき拠出する。
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	
老人保健医療費負担の公平性が図られている。		

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	27年度実績	28年度実績	29年度当初	29年度実績	
活動指標							
成果指標							
事業費 計		千円	34	27	18	17	
財源内訳			ア 国				
			イ 県				
			ウ 地方債				
			エ その他				
		オ 一般	34	27	18	17	

H29年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】 未設定 【成果指標の状況】 未設定 【成果向上余地】 未設定
--------	--

H29年度実施取組方針(H28年度本部結論)の実績評価

実施取組方針実績評価	H29年度実施取組方針	本部方向性	維持
	H29年度実施取組方針の実績評価	実施状況	未設定

介護納付金【～H29】

[1226]

事業の位置づけ

国民健康保険特別会計

政策	01	みんなで支えあう健康のまちづくり	事務事業コード	12-0509	実施計画	
施策	02	地域医療・福祉医療の推進	評価区分	評価対象外	総合戦略	
基本事業	05	国民健康保険の健全な運営	担当	健康福祉部 保険医療課		

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (29年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	国民健康保険被保険者のうち介護保険第2号被保険者	介護納付金を社会保険診療報酬支払基金からの通知に基づき拠出する。
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	
介護保険制度の円滑な運営の一助となっている。		

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	27年度実績	28年度実績	29年度当初	29年度実績	
活動指標							
成果指標							
事業費 計		千円	385,885	155,823	359,060	355,656	
財源内訳			ア 国	144,240	130,787	133,899	131,548
			イ 県	31,619	25,036	28,725	23,920
			ウ 地方債				
			エ その他				
			オ 一般	210,026		196,436	200,188

H29年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】 未設定 【成果指標の状況】 未設定 【成果向上余地】 未設定
--------	--

H29年度実施取組方針(H28年度本部結論)の実績評価

実施取組方針実績評価	H29年度実施取組方針	本部方向性	維持
	H29年度実施取組方針の実績評価	実施状況	未設定

共同事業拠出金【～H29】

[1225]

事業の位置づけ

国民健康保険特別会計

政策	01	みんなで支えあう健康のまちづくり	事務事業コード	12-0510	実施計画
施策	02	地域医療・福祉医療の推進	評価区分	評価対象外	総合戦略
基本事業	05	国民健康保険の健全な運営	担当	健康福祉部 保険医療課	

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (29年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	国民健康保険制度(保険者)	高額医療費拠出金、保険財政共同安定化事業拠出金を愛知県国民健康保険団体連合会からの通知に基づき拠出する。 (～H26 対象30万円以上 H27～ 対象1円以上へ変更)
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	
医療費の急激な増大による財政運営の不安定さが緩和されている。		

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	27年度実績	28年度実績	29年度当初	29年度実績
活動指標						
成果指標						
事業費 計		千円	1,793,201	1,775,196	1,950,852	1,710,598
財源内訳	ア 国					
	イ 県				15,239	61,726
	ウ 地方債					
	エ その他		1,754,918	1,723,367	1,888,219	1,622,634
オ 一般	38,283	51,829	47,394	26,238		

H29年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】 未設定 【成果指標の状況】 未設定 【成果向上余地】 未設定
--------	--

H29年度実施取組方針(H28年度本部結論)の実績評価

実施取組方針実績評価	H29年度実施取組方針	本部方向性	維持
	H29年度実施取組方針の実績評価	実施状況	未設定

特定健診・特定保健指導事業

[1111]

事業の位置づけ

国民健康保険特別会計

政策	01	みんなで支えあう健康のまちづくり	事務事業コード	12-0511	実施計画
施策	02	地域医療・福祉医療の推進	評価区分	通常評価	総合戦略
基本事業	05	国民健康保険の健全な運営	担当	健康福祉部 保険医療課	

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (29年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	特定健診対象者(40歳から74歳までの国民健康保険被保険者)	平成20年度から「高齢者の医療の確保に関する法律」(以下「法」という。)により医療保険者に特定健康診査及び特定保健指導の実施が義務付けられた。法に基づき尾張旭市の特性を加味した上で策定した「尾張旭市特定健康診査等実施計画」を基に、40歳以上の被保険者に対して特定健康診査・特定保健指導を実施する。 健診結果が医療機関受診勧奨レベルの被保険者に対して医療機関受診を勧奨する。(平成28年度より)
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	特定健康診査、特定保健指導「動機づけ支援」は瀬戸旭医師会に委託。特定保健指導「積極的支援」は市(健康課)で実施。 健診結果により特定保健指導を実施する。
	メタボリックシンドローム(内臓脂肪症候群)該当者、予備群が減少し、生活の質が向上している。	

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	27年度実績	28年度実績	29年度当初	29年度実績
活動指標	特定健診受診者数	人	6,490	6,258	8,220	6,079
	特定保健指導実施者数	人	360	318	514	322
成果指標	特定健診受診率	%	41.6	41.2	60.0	41.8
	特定保健指導実施率	%	34.4	31.6	60.0	38.8
事業費 計			70,448	68,029	76,767	67,009
財源内訳		ア 国	13,048	13,871	13,833	13,144
		イ 県	13,384	13,535	12,960	13,144
		ウ 地方債				
		エ その他				
		オ 一般	44,016	40,623	49,974	40,721

H29年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】 順調 【成果指標の状況】 維持・横ばい 【成果向上余地】 余地が中程度	(状況) 特定健診の受診率及び特定保健指導の利用率は向上している。
--------	---	-----------------------------------

H29年度実施取組方針(H28年度本部結論)の実績評価

実施取組方針実績評価	H29年度実施取組方針	本部方向性	維持
	H29年度実施取組方針の実績評価	実施状況	-

事業の位置づけ

国民健康保険特別会計

政策	01	みんなで支えあう健康のまちづくり	事務事業コード	12-0512	実施計画
施策	02	地域医療・福祉医療の推進	評価区分	通常評価	総合戦略
基本事業	05	国民健康保険の健全な運営	担当	健康福祉部 保険医療課	

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (29年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	国民健康保険被保険者	手段(事務事業の内容、やり方、手順)	医療費通知 保険給付を行った世帯に対して、医療費通知を通知する。(年6回) 健康増進に関する情報提供 広報や市ホームページで健康増進情報を提供する。 がん検診等の費用一部負担 被保険者ががん検診等を受診した場合の費用を一部負担する(市健康づくり事業へ健康診査負担金を支出)。 生活習慣病予防健診 30代のかたを対象に基礎的な健診等を実施する。 簡易脳検診 40歳以上70歳以下で5歳刻みの年齢のかた及び74歳のかたを対象に特定健診結果を添付して申込してもらい、110名を選考して検診を実施する。 訪問指導 重複・多受診者へ訪問による保健指導を行う。
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	・国民健康保険被保険者の健康意識を高め、病気の予防が行われている。(病気の予防により、医療費の増大を抑制する。) ・国民健康保険被保険者一人ひとりを対象として適切な健康増進事業が行われている。		

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	27年度実績	28年度実績	29年度当初	29年度実績
活動指標	市健康づくり事業への一部負担額	千円	5,116	4,980	5,644	4,533
成果指標	医療費通知件数	件	54,625	51,836	55,020	49,483
	被保険者1人当たり年間健康増進事業費	円	996	1,036	1,161	999
事業費計			19,196	19,007	21,276	17,361
指標・事業費	財源内訳	ア 国			2,261	2,603
		イ 県				
		ウ 地方債				
		エ その他				
		オ 一般	千円	19,196	19,007	19,015

H29年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】 順調 【成果指標の状況】 維持・横ばい 【成果向上余地】 余地が中程度	(状況)医療費通知の送付件数は減少、被保険者1人当たり年間健康増進事業費は3.6%低下した。 (原因)医療費通知の件数の減少は、被保険者の減少に伴うものです。年間事業費の減少は、短期人間ドックやがん検診の受診が少なかったためです。
--------	---	--

H29年度実施取組方針(H28年度本部結論)の実績評価

実施取組方針実績評価	H29年度実施取組方針	本部方向性	維持
	H29年度実施取組方針の実績評価	実施状況	-

国民健康保険事業基金積立金

[44]

事業の位置づけ

国民健康保険特別会計

政策	01	みんなで支えあう健康のまちづくり	事務事業コード	12-0513	実施計画	
施策	02	地域医療・福祉医療の推進	評価区分	評価対象外	総合戦略	
基本事業	05	国民健康保険の健全な運営	担当	健康福祉部 保険医療課		

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (29年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	国民健康保険事業基金現在額	国民健康保険の想定外の支出に備え、国民健康保険事業基金を積み立てる。
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	
必要に応じ、基金が積み立てられている。		

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	27年度実績	28年度実績	29年度当初	29年度実績	
活動指標							
成果指標							
事業費 計		千円	84	64	22	21	
財源内訳			ア 国				
			イ 県				
			ウ 地方債				
			エ その他		64	22	21
		オ 一般	84				

H29年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】 未設定 【成果指標の状況】 未設定 【成果向上余地】 未設定
--------	--

H29年度実施取組方針(H28年度本部結論)の実績評価

実施取組方針実績評価	H29年度実施取組方針	本部方向性	維持
	H29年度実施取組方針の実績評価	実施状況	未設定

一時借入金利子（国保特会）

[45]

事業の位置づけ

国民健康保険特別会計

政策	01	みんなで支えあう健康のまちづくり	事務事業コード	12-0514	実施計画	
施策	02	地域医療・福祉医療の推進	評価区分	評価対象外	総合戦略	
基本事業	05	国民健康保険の健全な運営	担当	健康福祉部 保険医療課		

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (29年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	国民健康保険事業運営に係る一時借入金	国保運営にあたり一時的に歳入が不足し、一時借入れを行ったとき、利子を支払う。
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	
一時借入れを行った場合、契約に従い利子が支払われている。		

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	27年度実績	28年度実績	29年度当初	29年度実績
活動指標						
成果指標						
事業費 計					75	
財源内訳	ア 国	千円				
	イ 県					
	ウ 地方債					
	エ その他					
	オ 一般					75

H29年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】 未設定 【成果指標の状況】 未設定 【成果向上余地】 未設定
--------	--

H29年度実施取組方針（H28年度本部結論）の実績評価

実施取組方針実績評価	H29年度実施取組方針	本部方向性	維持
	H29年度実施取組方針の実績評価	実施状況	未設定

国民健康保険税還付金及び還付加算金

[46]

事業の位置づけ

国民健康保険特別会計

政策	01	みんなで支えあう健康のまちづくり	事務事業コード	12-0515	実施計画	
施策	02	地域医療・福祉医療の推進	評価区分	評価対象外	総合戦略	
基本事業	05	国民健康保険の健全な運営	担当	健康福祉部 保険医療課		

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (29年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	国民健康保険税納税義務者	被保険者が資格喪失した場合や所得の更正を行った場合に国民健康保険税を還付する。また、遡って資格喪失や所得更正がされた場合等に国民健康保険税の還付に伴い、還付加算金を支出する。
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	
国民健康保険税が納め過ぎとなった場合、納税義務者に適正に還付されている。また、還付加算金が適正に算定され、支出されている。		

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	27年度実績	28年度実績	29年度当初	29年度実績	
活動指標							
成果指標							
事業費 計		千円	4,140	8,911	6,650	7,962	
財源内訳			ア 国				
			イ 県				
			ウ 地方債				
			エ その他				
		オ 一般	4,140	8,911	6,650	7,962	

H29年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】 未設定 【成果指標の状況】 未設定 【成果向上余地】 未設定	
--------	--	--

H29年度実施取組方針(H28年度本部結論)の実績評価

実施取組方針実績評価	H29年度実施取組方針	本部方向性	維持
	H29年度実施取組方針の実績評価	実施状況	未設定

国県支出金等返納金（国保特会）

[50]

事業の位置づけ

国民健康保険特別会計

政策	01	みんなで支えあう健康のまちづくり	事務事業 コード	12-0516	実施 計画	
施策	02	地域医療・福祉医療の推進	評価区分	評価対象外	総合 戦略	
基本事業	05	国民健康保険の健全な運営	担当	健康福祉部 保険医療課		

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (29年度分)	対象（誰、何に対して事業を行うのか）	手段（事務事業の内容、やり方、手順）
	国、県、社会保険診療報酬支払基金	
	意図（対象をどのような状態にしたいのか）	過年度の国県支出金等が遡って減額された場合に返納する。
	国民健康保険に対する国・県支出金等の超過交付額が適正に返納されている。	

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	27年度実績	28年度実績	29年度当初	29年度実績
活動 指標						
成果 指標						
事業費 計			67,833	48,648	50,000	34,295
財源内訳		ア 国				
		イ 県				
		ウ 地方債				
		エ その他				
		オ 一般	千円	67,833	48,648	50,000

H29年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】 未設定 【成果指標の状況】 未設定 【成果向上余地】 未設定
--------	--

H29年度実施取組方針（H28年度本部結論）の実績評価

実施取組方針実績評価	H29年度実施取組方針	本部方向性	維持
	H29年度実施取組方針の実績評価	実施状況	未設定

一般会計繰出金（国保特会）

事業の位置づけ

国民健康保険特別会計

政策	01	みんなで支えあう健康のまちづくり	事務事業コード	12-0517	実施計画	
施策	02	地域医療・福祉医療の推進	評価区分	評価対象外	総合戦略	
基本事業	05	国民健康保険の健全な運営	担当	健康福祉部 保険医療課		

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (29年度分)	対象（誰、何に対して事業を行うのか）	手段（事務事業の内容、やり方、手順）
	一般会計	前年度決算確定後、一般会計繰入金の超過繰入があった場合に超過額を繰り出す。
	意図（対象をどのような状態にしたいのか）	
前年度の一般会計繰入金の超過交付額が正しく返納されている。		

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	27年度実績	28年度実績	29年度当初	29年度実績	
活動指標							
成果指標							
事業費 計		千円			1		
財源内訳			ア 国				
			イ 県				
			ウ 地方債				
			エ その他				
		オ 一般				1	

H29年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】 未設定 【成果指標の状況】 未設定 【成果向上余地】 未設定
--------	--

H29年度実施取組方針（H28年度本部結論）の実績評価

実施取組方針実績評価	H29年度実施取組方針	本部方向性	維持
	H29年度実施取組方針の実績評価	実施状況	未設定

予備費（国保特会）

事業の位置づけ

国民健康保険特別会計

政策	01	みんなで支えあう健康のまちづくり	事務事業コード	12-0518	実施計画	
施策	02	地域医療・福祉医療の推進	評価区分	評価対象外	総合戦略	
基本事業	05	国民健康保険の健全な運営	担当	健康福祉部 保険医療課		

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (29年度分)	対象（誰、何に対して事業を行うのか）	手段（事務事業の内容、やり方、手順）
	国民健康保険特別会計	
	意図（対象をどのような状態にしたいのか）	歳出予算の不足に対処し、予備費を充用する。
	歳出予算の不足に対処し、予備費が充用されている。	

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	27年度実績	28年度実績	29年度当初	29年度実績
活動指標						
成果指標						
事業費 計					11,122	
財源内訳		ア 国	千円			
		イ 県				
		ウ 地方債				
		エ その他				
		オ 一般				11,122

H29年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】 未設定 【成果指標の状況】 未設定 【成果向上余地】 未設定	
--------	--	--

H29年度実施取組方針（H28年度本部結論）の実績評価

実施取組方針実績評価	H29年度実施取組方針	本部方向性	維持
	H29年度実施取組方針の実績評価	実施状況	未設定

国民健康保険事業費納付金

[1315]

事業の位置づけ

国民健康保険特別会計

政策	01	みんなで支えあう健康のまちづくり	事務事業コード	12-0519	実施計画	
施策	02	地域医療・福祉医療の推進	評価区分	評価対象外	総合戦略	
基本事業	05	国民健康保険の健全な運営	担当	健康福祉部 保険医療課		

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (29年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	27年度実績	28年度実績	29年度当初	29年度実績
活動指標						
成果指標						
事業費 計						
指標・事業費	財源内訳	ア 国	千円			
		イ 県				
		ウ 地方債				
		エ その他				
		オ 一般				

H29年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】 未設定 【成果指標の状況】 未設定 【成果向上余地】 未設定	
--------	--	--

H29年度実施取組方針(H28年度本部結論)の実績評価

実施取組方針実績評価	H29年度実施取組方針	本部方向性	維持
	H29年度実施取組方針の実績評価	実施状況	未設定

事業の位置づけ

一般会計

政策	01	みんなで支えあう健康のまちづくり	事務事業 コード	12-0901	実施 計画	
施策	02	地域医療・福祉医療の推進	評価区分	通常評価	総合 戦略	
基本事業	09	(施策の総合推進)	担当	健康福祉部 健康課		

事業の概要 (目的、手段)

事業目的と概要 (29年度分)	対象 (誰、何に対して事業を行うのか)	手段 (事務事業の内容、やり方、手順)
	瀬戸旭看護専門学校 同校在籍の学生	「保健師助産師看護師法」に基づき、看護師の資格を得るために必要な知識及び技術を習得させるため、学校運営資金を確保し、看護師の充足及び資質向上へ寄与する。 瀬戸旭看護専門学校組合規約第13条により、組合の経費は、授業料、手数料、補助金その他の収入をもって支弁し、なお不足があるときは、人口 (前年度の1月31日現在の住民基本台帳人口) の割合で市が負担する。
	意図 (対象をどのような状態にしたいのか)	
円滑な看護師養成により看護職の確保ができる。		

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	27年度実績	28年度実績	29年度当初	29年度実績
活動 指標	瀬戸旭地区内の就業者数	人	66	59	60	66
	看護師国家試験合格者数	人	73	66	80	71
成果 指標	瀬戸旭地区内の就業者数の割合	%	90.4	89.4	90	93.0
	看護師国家試験合格者の割合	%	97.3	98.5	100	100
事業費 計			78,800	96,664	94,368	94,368
財源内訳		ア 国				
		イ 県				
		ウ 地方債				
		エ その他				
		オ 一般	千円	78,800	96,664	94,368

H29年度実績の評価

成果実績評価	<p>【活動指標の状況】 順調</p> <p>【成果指標の状況】 維持・横ばい</p> <p>【成果向上余地】 余地が中程度</p>	平成29年度実績では、瀬戸旭地区での就業者数及び看護師国家試験合格者の割合とも増加している。
--------	--	--

H29年度実施取組方針 (H28年度本部結論) の実績評価

実施取組方針実績評価	H29年度実施取組方針	本部方向性	維持
	H29年度実施取組方針の実績評価	実施状況	-

在宅等訪問歯科診療補助金

事業の位置づけ

政策	01	みんなで支えあう健康のまちづくり	事務事業コード	12-0902	実施計画	
施策	02	地域医療・福祉医療の推進	評価区分	通常評価	総合戦略	
基本事業	09	(施策の総合推進)	担当	健康福祉部 健康課		

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (29年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	寝たきりの高齢者や心身障がい者など、歯科医療機関を訪問できない市民	尾張旭市歯科医師会が実施する在宅等訪問歯科診療実施事業に対し補助する。 <補助対象事業の概要> 施設及び寝たきりの高齢者や心身障がい者など、歯科医療機関で治療を受けることができない市民に対する訪問歯科診療
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	<参考> 訪問歯科実績：実施年度 25 26 27 28 29 実人数 95人 105人 96人 101人 142人 延訪問件数 403件 420件 398件 417件 497件
	対象者の咀嚼障害を減らし、全身の健康維持へ結びつけることで、歯科保健の充実に図る。	

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	27年度実績	28年度実績	29年度当初	29年度実績
活動指標	補助金額	千円	800	800	800	800
成果指標	在宅等訪問歯科診療の訪問実人数	件	96	101	110	142
	在宅等訪問歯科診療の延訪問件数	件	398	417	440	497
事業費計			800	800	800	800
財源内訳	ア 国	千円				
	イ 県					
	ウ 地方債					
	エ その他					
	オ 一般		800	800	800	800

H29年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】 順調	平成29年度から、実績値に施設入所者の実人数と延べ件数を追加計上しているため数値が伸びているが、ここ数年は実人数、延べ件数とも横ばいの状況が続いている。
	【成果指標の状況】 維持・横ばい	
	【成果向上余地】 余地が小さい・なし	

H29年度実施取組方針(H28年度本部結論)の実績評価

実施取組方針実績評価	H29年度実施取組方針	本部方向性	維持
	H29年度実施取組方針の実績評価	実施状況	-

薬剤等適正使用啓発事業

事業の位置づけ

政策	01	みんなで支えあう健康のまちづくり	事務事業コード	12-0903	実施計画	
施策	02	地域医療・福祉医療の推進	評価区分	通常評価	総合戦略	
基本事業	09	(施策の総合推進)	担当	健康福祉部 健康課		

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (29年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	市民 尾張旭市薬剤師会	市民が薬剤等の使用や保健衛生の適正な知識を得ることができるよう、薬剤等の専門である尾張旭市薬剤師会に薬剤等適正使用普及のための啓発事業を委託する。(委託金額:100,000円) 市民が正しい服薬や薬剤の正しい知識を得てもらうよう、市民に周知や相談を行う。 ・健康まつり会場など市民が集まる会場にて市民に対する薬の相談・情報提供を行う。 ・ポスター作成などにより周知を図る。 など
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	
薬剤等の専門である薬剤師会及びその会員により、市民に薬に対する正しい知識のPRや、相談等が実施され、市民が薬剤等を適正に使用できる。		

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	27年度実績	28年度実績	29年度当初	29年度実績
活動指標	委託契約額	千円	100	100	100	100
成果指標	薬剤師会のPR活動により、薬の知識を深めた市民数	人	518	513	600	614
事業費 計			100	100	100	100
指標・事業費	財源内訳	ア 国	千円			
		イ 県				
		ウ 地方債				
		エ その他				
		オ 一般		100	100	100

H29年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】 順調	健康まつりにおいての普及啓発活動費が主となっているが、不特定多数の市民が集まる場において周知することは一定の効果がある。
	【成果指標の状況】 維持・横ばい	
	【成果向上余地】 余地が中程度	

H29年度実施取組方針(H28年度本部結論)の実績評価

実施取組方針実績評価	H29年度実施取組方針	本部方向性	見直し
	薬剤等の適正使用の啓発方法について、より効果のある事業内容への見直しを検討します。		
	H29年度実施取組方針の実績評価	実施状況	
尾張旭市薬剤師会の健康まつりブースでは、毎年テーマを決めて啓発活動をしている。会には事業の目的に沿ったテーマ設定や活動内容となるよう呼びかけている。			

後期高齢者医療広域連合事業

[1075]

事業の位置づけ

一般会計

政策	01	みんなで支えあう健康のまちづくり	事務事業コード	12-0907	実施計画	
施策	02	地域医療・福祉医療の推進	評価区分	通常評価	総合戦略	
基本事業	09	(施策の総合推進)	担当	健康福祉部 保険医療課		

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (29年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	75歳以上または一定の障害がある65歳以上の高齢者	<p>・「高齢者の医療の確保に関する法律」の公布に伴い、平成20年4月から後期高齢者医療制度を実施することとされた。本市においても、その運営のため、市として定められた財政負担、健診事業の広域連合からの受託、被保険者証の交付、これらの他の各種事務を行う。なお、後期高齢者医療制度に関する市の業務(窓口業務、保険料徴収等)については、後期高齢者医療特別会計の中でも運用を行う。</p>
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	<p>高齢者医療制度については、現行制度廃止に関する法案の廃案後、制度存続についての検討が社会保障制度改革国民会議において行われていたが、平成25年8月の最終報告にて「現行制度を基本としながら(中略)必要な改善を行っていくことが適当である。」とされた。</p>
	後期高齢者医療制度が適切に実施できている。	

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	27年度実績	28年度実績	29年度当初	29年度実績	
活動指標	後期高齢者医療被保険者証交付数	人	8,723	9,205	10,150	9,798	
成果指標	後期高齢者医療被保険者証を交付し、医療が受けられる被保険者の割合	%	100	100	100	100	
事業費計			674,333	692,395	748,608	751,367	
財源内訳		ア 国					
		イ 県					
		ウ 地方債					
		エ その他		29,633	32,741	34,923	35,453
		オ 一般		644,700	659,654	713,685	715,914

H29年度実績の評価

成果実績評価	<p>【活動指標の状況】 順調</p> <p>【成果指標の状況】 維持・横ばい</p> <p>【成果向上余地】 余地が小さい・なし</p>	高齢化にともない、被保険者数が年々増加している。
--------	---	--------------------------

H29年度実施取組方針(H28年度本部結論)の実績評価

実施取組方針実績評価	H29年度実施取組方針	本部方向性	維持
	H29年度実施取組方針の実績評価	実施状況	-

後期高齢者医療保険被保険者管理事務

[1161]

事業の位置づけ

後期高齢者医療特別会計

政策	01	みんなで支えあう健康のまちづくり	事務事業コード	12-0908	実施計画
施策	02	地域医療・福祉医療の推進	評価区分	通常評価	総合戦略
基本事業	09	(施策の総合推進)	担当	健康福祉部 保険医療課	

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (29年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	75歳以上の高齢者及び65歳以上の一定の障がいのある人	窓口において資格取得、変更、喪失の届出受付を行う中で、各種手続きに関する案内を行う。 ・新規資格取得者には、被保険者証とともに案内文を郵送する。 ・資格変更者には、変更届出をいただき、後日被保険者証を発行する。 ・資格喪失者には、喪失届出をいただくとともに、葬祭費申請や高額医療費の説明を行う。 窓口以外では、広報やハンドブックを配布するなどして制度の周知を行う。
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	高年齢者医療制度については、現行制度廃止に関する法案の廃案後、制度存続についての検討が社会保障制度改革国民会議において行われていたが、平成25年8月の最終報告にて「現行制度を基本としながら(中略)必要な改善を行っていくことが適当である。」とされた。
	医療費や保険料の負担感が増大せず、今までどおり安心して医療が受けられている。	

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	27年度実績	28年度実績	29年度当初	29年度実績	
活動指標	実際に後期高齢者医療制度へ移行した人、加入した人の数	人	9,205	9,798	10,480	10,394	
成果指標	後期高齢者医療制度への移行が確実にできた人の割合	%	100	100	100	100	
事業費 計			15,324	6,772	5,963	5,709	
指標・事業費	財源内訳	ア 国					
		イ 県					
		ウ 地方債					
		エ その他	千円	15,324	6,772	5,963	5,709
		オ 一般					

H29年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】 順調 【成果指標の状況】 維持・横ばい 【成果向上余地】 なし	制度に基づき、適切に行っている。
--------	---	------------------

H29年度実施取組方針(H28年度本部結論)の実績評価

実施取組方針実績評価	H29年度実施取組方針	本部方向性	維持
	H29年度実施取組方針の実績評価	実施状況	-

後期高齢者医療保険料徴収事務

[1141]

事業の位置づけ

後期高齢者医療特別会計

政策	01	みんなで支えあう健康のまちづくり	事務事業コード	12-0909	実施計画
施策	02	地域医療・福祉医療の推進	評価区分	通常評価	総合戦略
基本事業	09	(施策の総合推進)	担当	健康福祉部 保険医療課	

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (29年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	後期高齢者医療保険被保険者、特別徴収義務者	<ul style="list-style-type: none"> 普通徴収となる被保険者に対して広域連合により算定された年度の保険料額(本算定)に基づき、保険料額の通知と納付書を送付し、納付を依頼する。 特別徴収となる被保険者及び特別徴収義務者に対して広域連合により算定された保険料額(仮徴収額、確定徴収額)に基づき、徴収額決定通知書を送付し、特別徴収開始を被保険者に通知する。同時に、特別徴収義務者に対して、とりまとめ機関を通じ、特別徴収を依頼する。
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	<p>高齢者医療制度については、現行制度廃止に関する法案の廃案後、制度存続についての検討が社会保障制度改革国民会議において行われていたが、平成25年8月の最終報告にて「現行制度を基本としながら(中略)必要な改善を行っていくことが適当である。」とされた。</p>
納めていただくべき保険料が適切な時期に納められている。		

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	27年度実績	28年度実績	29年度当初	29年度実績	
活動指標	被保険者に納めていただいた保険料額(現年分)	千円	828,892	921,034	977,429	983,962	
成果指標	保険料の納付率(現年分)	%	99.8	100	100	100	
事業費 計			13,044	14,140	14,381	13,679	
指標・事業費	財源内訳	ア 国	千円				
		イ 県					
		ウ 地方債					
		エ その他		13,044	14,140	14,381	13,679
		オ 一般					

H29年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】 順調	(状況)「保険料の納付率」は99%台を維持している。 (原因)高額滞納者との接触ができず、一部徴収ができない者がいることが原因である。
	【成果指標の状況】 維持・横ばい	
	【成果向上余地】 余地が小さい・なし	

H29年度実施取組方針(H28年度本部結論)の実績評価

実施取組方針実績評価	H29年度実施取組方針	本部方向性	維持
	H29年度実施取組方針の実績評価	実施状況	-

後期高齢者医療広域連合納付金

[1142]

事業の位置づけ

後期高齢者医療特別会計

政策	01	みんなで支えあう健康のまちづくり	事務事業 コード	12-0910	実施 計画	
施策	02	地域医療・福祉医療の推進	評価区分	評価対象外	総合 戦略	
基本事業	09	(施策の総合推進)	担当	健康福祉部 保険医療課		

事業の概要 (目的、手段)

事業目的と概要 (29年度分)	対象 (誰、何に対して事業を行うのか)	手段 (事務事業の内容、やり方、手順)
	愛知県後期高齢者医療広域連合	<p>普通徴収及び特別徴収により、被保険者、特別徴収義務者から徴収した後期高齢者医療保険料及び被保険者の保険料軽減分に対する公費負担分を、愛知県後期高齢者医療広域連合に納付する。</p> <p>高齢者医療制度については、現行制度廃止に関する法案の廃案後、制度存続についての検討が社会保障制度改革国民会議において行われていたが、平成25年8月の最終報告にて「現行制度を基本としながら(中略)必要な改善を行っていくことが適当である。」とされた。</p>
	意図 (対象をどのような状態にしたいのか)	
適切な時期に、広域連合に対し保険料等負担金の負担がなされている。		

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	27年度実績	28年度実績	29年度当初	29年度実績	
活動 指標							
成果 指標							
事業費 計		千円	949,916	1,052,187	1,107,251	1,118,805	
財源内訳			ア 国				
			イ 県				
			ウ 地方債				
			エ その他	949,916	1,052,187	1,107,251	1,118,805
オ 一般							

H29年度実績の評価

成果実績評価	<p>【活動指標の状況】 未設定</p> <p>【成果指標の状況】 未設定</p> <p>【成果向上余地】 未設定</p>	
--------	---	--

H29年度実施取組方針 (H28年度本部結論) の実績評価

実施取組方針 実績評価	H29年度実施取組方針	本部方向性	維持
	H29年度実施取組方針の実績評価	実施状況	未設定

後期高齢者医療保険料還付金及び還付加算金

[1143]

事業の位置づけ

後期高齢者医療特別会計

政策	01	みんなで支えあう健康のまちづくり	事務事業コード	12-0911	実施計画	
施策	02	地域医療・福祉医療の推進	評価区分	評価対象外	総合戦略	
基本事業	09	(施策の総合推進)	担当	健康福祉部 保険医療課		

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (29年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	被保険者	還付金が発生した際に、その額及び還付時期によって還付加算金を加算し、還付保険料とともに被保険者に支給する。
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	高齢者医療制度については、現行制度廃止に関する法案の廃案後、制度存続についての検討が社会保障制度改革国民会議において行われていたが、平成25年8月の最終報告にて「現行制度を基本としながら(中略)必要な改善を行っていくことが適当である。」とされた。
	被保険者に支給すべき還付加算金が、還付保険料とともに支給されている。	

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	27年度実績	28年度実績	29年度当初	29年度実績
活動指標						
成果指標						
事業費 計			919	1,058	1,450	1,440
財源内訳	ア 国	千円				
	イ 県					
	ウ 地方債					
	エ その他		919	1,058	1,450	1,440
	オ 一般					

H29年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】 未設定 【成果指標の状況】 未設定 【成果向上余地】 未設定
--------	--

H29年度実施取組方針(H28年度本部結論)の実績評価

実施取組方針実績評価	H29年度実施取組方針	本部方向性	維持
	H29年度実施取組方針の実績評価	実施状況	未設定

一般会計繰出金（後期高齢特会）

[1175]

事業の位置づけ

後期高齢者医療特別会計

政策	01	みんなで支えあう健康のまちづくり	事務事業 コード	12-0912	実施 計画	
施策	02	地域医療・福祉医療の推進	評価区分	評価対象外	総合 戦略	
基本事業	09	(施策の総合推進)	担当	健康福祉部 保険医療課		

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (29年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	本市一般会計	<p>前年度決算確定後、一般会計繰入金の超過繰入があった場合に超過額を繰出す。</p> <p>高齢者医療制度については、現行制度廃止に関する法案の廃案後、制度存続についての検討が社会保障制度改革国民会議において行われていたが、平成25年8月の最終報告にて「現行制度を基本としながら(中略)必要な改善を行っていくことが適当である。」とされた。</p>
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	
前年度の後期高齢者医療特別会計事業で剰余が生じた場合、一般会計への繰出金を計算し支出できている。		

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	27年度実績	28年度実績	29年度当初	29年度実績
活動 指標						
成果 指標						
事業費 計					1	
財源内訳		ア 国	千円			
		イ 県				
		ウ 地方債				
		エ その他				
		オ 一般				1

H29年度実績の評価

成果実績評価	<p>【活動指標の状況】 未設定</p> <p>【成果指標の状況】 未設定</p> <p>【成果向上余地】 未設定</p>	
--------	---	--

H29年度実施取組方針（H28年度本部結論）の実績評価

実施取組方針 実績評価	H29年度実施取組方針	本部方向性	維持
	H29年度実施取組方針の実績評価	実施状況	未設定

予備費（後期高齢特会）

[1212]

事業の位置づけ

後期高齢者医療特別会計

政策	01	みんなで支えあう健康のまちづくり	事務事業コード	12-0913	実施計画	
施策	02	地域医療・福祉医療の推進	評価区分	評価対象外	総合戦略	
基本事業	09	(施策の総合推進)	担当	健康福祉部 保険医療課		

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (29年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	後期高齢者医療特別会計	後期高齢者医療制度に係る予算外の支出や、予算超過の支出に充てるため設置している。
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	
	後期高齢者医療特別会計が適切に運営されている。	

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	27年度実績	28年度実績	29年度当初	29年度実績	
活動指標							
成果指標							
事業費 計		千円			954		
財源内訳			ア 国				
			イ 県				
			ウ 地方債				
			エ その他				
		オ 一般			954		

H29年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】 未設定 【成果指標の状況】 未設定 【成果向上余地】 未設定
--------	--

H29年度実施取組方針（H28年度本部結論）の実績評価

実施取組方針実績評価	H29年度実施取組方針	本部方向性	維持
	H29年度実施取組方針の実績評価	実施状況	未設定

国民健康保険特別会計繰出金

[915]

事業の位置づけ

一般会計

政策	01	みんなで支えあう健康のまちづくり	事務事業コード	97-0103	実施計画	
施策	02	地域医療・福祉医療の推進	評価区分	通常評価	総合戦略	
基本事業	09	(施策の総合推進)	担当	健康福祉部 保険医療課		

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (29年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	国民健康保険特別会計	国民健康保険事業が円滑に行えるよう、一般会計から当該事業の市負担相当分を繰り出す。 繰出金は、法定分と市の任意分(法定外分)がある。社会構造の変化に伴い、近年全国的に国保財政が厳しいものになっているため、法定分・法定外分ともに増加傾向にある。 法定外分については、国民健康保険事業に対する市の考えに左右されるが、医療費の増加に対応し、国保財政の健全性を維持するためには、国保税率引き上げと繰出金の増額以外に市の選択肢がないのが実情である。 今後、税率改正を検討する際は、法定外分の支出増加も検討する必要がある。
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	
	・一般会計から国民健康保険特別会計への適正な繰出により、国民健康保険事業が円滑に行われている。 ・国民健康保険税の税率を適正な水準に保ち、国民健康保険被保険者が適正な負担で医療が受けられている。	

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	27年度実績	28年度実績	29年度当初	29年度実績
活動指標	繰出金の額	千円	592,446	609,420	713,378	587,821
成果指標	被保険者1人当たりの一般会計繰入金額	円	30,744	33,234	38,961	33,812
事業費 計			592,446	609,420	706,526	587,821
指標・事業費	財源内訳	ア 国	39,529	60,717	59,934	61,141
		イ 県	196,115	201,041	196,464	198,645
		ウ 地方債				
		エ その他				
		オ 一般	356,802	347,662	450,128	328,035

H29年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】 順調 【成果指標の状況】 維持・横ばい 【成果向上余地】 余地が大きい	(状況) H29年度当初予算より、決算額で118,705千円減額した。 (原因) 国民健康保険特別会計で大幅な剰余金が生じたため。
--------	---	--

H29年度実施取組方針(H28年度本部結論)の実績評価

実施取組方針実績評価	H29年度実施取組方針	本部方向性	維持
	H29年度実施取組方針の実績評価	実施状況	-

後期高齢者医療特別会計繰出金

[1140]

事業の位置づけ

一般会計

政策	01	みんなで支えあう健康のまちづくり	事務事業コード	97-0104	実施計画	
施策	02	地域医療・福祉医療の推進	評価区分	評価対象外	総合戦略	
基本事業	09	(施策の総合推進)	担当	健康福祉部 保険医療課		

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (29年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	後期高齢者医療特別会計	<ul style="list-style-type: none"> 後期高齢者医療特別会計において保険料の徴収事務などが円滑に実施されるよう、事業費に係る市負担分を一般会計から繰出する。 低所得者等の保険料軽減分を愛知県及び尾張旭市で負担し、後期高齢者医療保険基盤安定制度負担金として愛知県後期高齢者医療広域連合に納付するため、一般会計から繰出する。
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	<p>高齢者医療制度については、現行制度廃止に関する法案の廃案後、制度存続についての検討が社会保障制度改革国民会議において行われていたが、平成25年8月の最終報告にて「現行制度を基本としながら(中略)必要な改善を行っていくことが適当である。」とされた。</p>
	一般会計からの適切な繰出しにより、後期高齢者医療制度が円滑に実施されている。	

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	27年度実績	28年度実績	29年度当初	29年度実績
活動指標						
成果指標						
事業費 計			147,715	149,254	160,193	155,946
財源内訳		ア 国	1,662			
		イ 県	89,511	96,865	104,175	102,418
		ウ 地方債				
		エ その他				
		オ 一般	56,542	52,389	56,018	53,528

H29年度実績の評価

成果実績評価	<p>【活動指標の状況】 順調</p> <p>【成果指標の状況】 維持・横ばい</p> <p>【成果向上余地】 なし</p>	法に基づき特別会計への繰出しを適切に実施した。
--------	--	-------------------------

H29年度実施取組方針(H28年度本部結論)の実績評価

実施取組方針実績評価	H29年度実施取組方針	本部方向性	維持
	H29年度実施取組方針の実績評価	実施状況	未設定

保険医療課庶務事務

[972]

事業の位置づけ

一般会計

政策	01	みんなで支えあう健康のまちづくり	事務事業 コード	99-0407	実施 計画	
施策	02	地域医療・福祉医療の推進	評価区分	通常評価	総合 戦略	
基本事業	09	(施策の総合推進)	担当	健康福祉部 保険医療課		

事業の概要 (目的、手段)

事業目的と概要 (29年度分)	対象 (誰、何に対して事業を行うのか)	手段 (事務事業の内容、やり方、手順)
	課の庶務事務	<ul style="list-style-type: none"> ・文書の收受 ・出張命令書の処理 ・消耗品の調達・管理 ・庁内文書の処理(照会文書の調査・報告等) ・その他の雑務 所要時間 = 1日1.5時間 × 23日 × 12月
	意図 (対象をどのような状態にしたいのか)	
庶務事務にミスがなく、円滑に進んでいる。		

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	27年度実績	28年度実績	29年度当初	29年度実績
活動 指標	庶務事務所要時間数	時間	414	414	414	414
成果 指標	庶務事務における手続きミス、不具合件数	件		0	0	0
事業費 計						
指標・ 事業費	財源内訳	ア 国	千円			
		イ 県				
		ウ 地方債				
		エ その他				
		オ 一般				

H29年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】 順調 【成果指標の状況】 維持・横ばい 【成果向上余地】 余地が小さい・なし	庶務管理システムを活用し、効率的に事務を行った。
--------	--	--------------------------

H29年度実施取組方針 (H28年度本部結論) の実績評価

実施取組方針 実績評価	H29年度実施取組方針	本部方向性	維持
	H29年度実施取組方針の実績評価	実施状況	-

事業の位置づけ

一般会計

政策	01	みんなで支えあう健康のまちづくり	事務事業コード	99-0408	実施計画	
施策	02	地域医療・福祉医療の推進	評価区分	通常評価	総合戦略	
基本事業	09	(施策の総合推進)	担当	健康福祉部 保険医療課		

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (29年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	係の庶務事務 係の職員	庁内外の文書の收受 時間外勤務・出張命令の整理 係内の備品・消耗品の管理、調達 財務会計事務 係の予算・決算に関する事務 係の行政評価に関する事務 県・国保連合会等からの調査、報告に関する事務 社会保険診療報酬支払基金・国・県からの交付金・補助金に関する事務、7種類の交付金・補助金〔資料作成、提出書類作成、ヒアリング〕 条例・規則等の制定改廃に関する事務 その他突発的な事項等への対応
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	
係の庶務事務が適正に処理されている。		

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	27年度実績	28年度実績	29年度当初	29年度実績	
活動指標	所要時間数	時間	2,520	2,520	2,520	2,520	
		件数					
成果指標	庶務事務時所要時間の削減時間	時間	0	0	7	0	
	庶務事務における事務改善件数	件	0	0	1	0	
事業費 計			3	55	1,033	1,008	
財源内訳		ア 国					
		イ 県					
		ウ 地方債					
		エ その他					
		オ 一般	千円	3	55	1,033	1,008

H29年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】 順調 【成果指標の状況】 維持・横ばい 【成果向上余地】 余地が小さい・なし	(状況) 係の庶務事務が適正に処理できた。
--------	---	-----------------------

H29年度実施取組方針(H28年度本部結論)の実績評価

実施取組方針実績評価	H29年度実施取組方針	本部方向性	維持
	H29年度実施取組方針の実績評価	実施状況	-

国民健康保険庶務事務

[977]

事業の位置づけ

国民健康保険特別会計

政策	01	みんなで支えあう健康のまちづくり	事務事業コード	99-0409	実施計画
施策	02	地域医療・福祉医療の推進	評価区分	通常評価	総合戦略
基本事業	09	(施策の総合推進)	担当	健康福祉部 保険医療課	

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (29年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	国民健康保険庶務事務	県、連合会等からの調査、報告等に関する事務(30件*8H*5日 1,200H) 国、県等からの補助金等に関する事務(療養給付費負担金等)資料作成、提出書類作成、ヒアリング等(2人*7件*8H*7日 780H) 予算・決算に関する事務(2人*8H*40日 640H) 条例・規則等の制定改廃に関する事務(8H*20日 160H) その他国民健康保険に関する事務(8H*30日 240H)
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	
国民健康保険に関する補助金、予算、条例等の事務が適正かつ円滑に進んでいる。		

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	27年度実績	28年度実績	29年度当初	29年度実績	
活動指標	所要時間数	時間	3,300	3,300	3,300	3,300	
成果指標	庶務事務所要時間の削減時間	時間	10	10	10	10	
指標・事業費	事業費 計						
	財源内訳	ア 国	千円				
		イ 県					
		ウ 地方債					
		エ その他					
オ 一般							

H29年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】 順調	(状況) 庶務事務の所要時間に変化はない。
	【成果指標の状況】 維持・横ばい	
	【成果向上余地】 余地が小さい・なし	

H29年度実施取組方針(H28年度本部結論)の実績評価

実施取組方針実績評価	H29年度実施取組方針	本部方向性	維持
	H29年度実施取組方針の実績評価	実施状況	-